

審議会等の議事の要旨(要点)

会議名称	立川市総合都市交通戦略協議会
開催日時	令和7年1月29日(水)午後2時から
開催場所	たましん RISURU ホール 5階第6・7会議室
次第	1. 開 会 2. 会長・副会長の選任 3. 議 事 (1)総合都市交通戦略の位置づけについて (2)中期計画期間交通戦略・施策の状況について (3)評価指標について (4)その他 4. 閉 会
配布資料	資料1:総合都市交通戦略の位置づけ 資料1補足:総合都市交通戦略の位置づけについて 資料2:中期計画期間の主な重点的交通戦略・施策 資料3:施策の進捗状況と今後の方向性 資料4-1:評価指標(令和2年度以降) 資料4-2:評価指標(公共交通機関利用者数の推移) 参考資料1:立川市総合都市交通戦略協議会委員名簿 参考資料2:立川市総合都市交通戦略協議会設置要綱 参考資料3:立川市総合都市交通戦略(概要版)
出席者	[委員] 岡村敏之会長、新井和典副会長、関澤貴史委員(代理:菊地氏)、中山俊夫委員(代理:五十嵐氏)、長尾潤委員(代理:橋本氏)、野口裕司委員、倉科大地委員(代理:加藤氏)、岩澤貴顕委員(代理:八木氏)、中村太郎委員、佐藤祐浩委員(代理:岡野氏)、秦野凌委員(代理:江口氏)、三浦裕介委員(代理:小出氏)、藤原廣彦委員、岩崎春伸委員、吉野晴彦委員、梅田茂之委員、山野目俊丈委員 [事務局] 野澤英一(まちづくり部長)、卯月寿一(基盤整備部長)、大和田智也(交通対策課長)、津崎政人(交通企画係長)、吉岡優大(交通企画係)
公開及び非公開	公開
傍聴者数	2人
会議結果	1. 開 会 委員任期の更新に伴い、委員に辞令交付を行った。 2. 会長・副会長の選任 互選により会長に岡村敏之氏、副会長に新井和典氏が選任された。

	3. 議 事 (1)総合都市交通戦略の位置づけについて 資料1をもとに事務局より、総合都市交通戦略は単独では改定せず、令和8年3月策定予定の地域公共交通計画に兼ねる方向で調整する旨を説明した。 (2)施策の進捗状況、評価指標について 資料2・3をもとに事務局より本戦略に位置付けている事業は概ね完了・実施中である旨を説明した。 資料3について、「地域公共交通計画への継承へ向けた今後の方向性」は下記のとおり整理する旨を説明した。 ・「検討」とあるものは地域公共交通計画の策定過程へ引き継ぐ 「検討」とは、地域公共交通計画の検討内容として、地域公共交通計画活性化協議会へ一任することとし、「施策の継続(目的や手法の見直し、修正する場合も含む)」、「他施策と整理・統合又は検討を踏まえて未記載とする」等 ・重点整備地区の設定は継承しない ・個別計画等に基づく施策については、当該個別計画等の検討内容を優先する <委員> 立飛駅の自転車等駐車場の整備が今後の検討対象から外されている。市内では他にも自転車等駐車場の整備を進めているが、課題検証の中で、立飛駅は市で新しい施設を整備したわけではなく、周辺の民間施設の利用状況等により実態として課題がなくなったため、今回削除するという認識でよいか。 【事務局】 委員お見込みのとおり。 (3)評価指標について 事務局より目標値は設定せずに、平成27年度の計画当初およびコロナ前である平成31年度と令和5年度の最新の数値との比較を通してモニタリングを行いたい旨を説明した。また、資料4をもとに評価指標について、説明を行った。 <会長> 目標値は新たには設定せずに、計画当初および平成31年度との比較する形でモニタリングをしていくという提案についてはよろしいか。 (異議なし)
--	--

	<会長> 評価指標がこの施策のおかげで数値が改善したとは言えず、それがモニタリング指標のやむを得ないところではある。一部でやや厳しい値も出ている項目もあるが、コロナ禍で厳しかった割にはある程度改善してきている項目もある。 (4)その他 事務局より以下のとおり報告した。 ・議事で諮ったとおり、本戦略は地域公共交通計画に引き継ぐ方向となった。本協議会も総合都市交通戦略の交通と土地利用、交通とまちづくりといった理念や施策を地域公共交通活性化協議会に引き継ぎ、来年度をもって発展的解散とする。 ・来年度の開催については、委員の負担を鑑み、書面での開催も検討する。 4. 閉 会
担当	まちづくり部交通対策課交通企画係 電話 042-523-2111(2280)